

Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 女子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 24 日(土)

試合時間：11:40～

主審：岩尾 圭治

副審：隈元 ゆみこ

東海大学九州	○ 7 3	19	—1st—	23	● 6 4	鹿屋体育大学
		18	—2nd—	13		
		12	—3rd—	12		
		24	—4th—	16		

第 1 ピリオド

開始早々、東海大は # 1 4 小澤、# 7 7 赤坂の連続 3 P シュートで先制する。続け様に # 1 0 井上がジャンプシュートを決め、幸先良くスタートする。対する鹿体大は、# 2 6 後藤の 3 P シュート、# 7 原のジャンプシュートで反撃するも、その後は両者、激しいディフェンスで一步も譲らない展開に。終盤、鹿体大は # 3 大串がポストプレイから、ゴール下のシュートを 3 本連続で決め、一気に点差を離しにかかると、終了間際にはフリースローも 2 本沈め、23 - 19、鹿体大のリードで第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

序盤、両チームともに果敢にシュートを狙うも、なかなか決まらない。均衡を破ったのは、東海大 # 7 7 赤坂。ジャンプシュートを決めると、続けて 3 P シュートも沈め、逆転に成功すると、残り 7 : 29、鹿体大はタイムアウトを請求。流れを変えたい鹿体大だったが、東海大 # 7 7 赤坂に 3 P シュートを決められ苦しい展開に。しかし終盤、流れが一変する。鹿体大 # 3 大串のシュートを皮切りに、# 3 1 西村、# 8 中山が連続してシュートを決める。東海大は、本日好調の # 7 7 赤坂の 3 P シュートで反撃するも後が続かず、残り 2 : 21、東海大は前半 2 回目のタイムアウトを請求。その後は、両チームともに得点を重ね、37 - 36、東海大が 1 点リードして後半へ。

第 3 ピリオド

序盤、東海大は # 1 0 井上、# 6 山下の連続得点でリードを広げると、鹿体大は # 3 大串がゴール下で踏ん張りを見せる。中盤、両チームともにシュートがリングに嫌われる時間が続くも、鹿体大は # 2 6 後藤のシュート、# 3 大串のバスケットカウントで徐々に詰め寄る。終了間際、鹿体大 # 5 井上がジャンプシュートを決め、49 - 48、東海大が前半のリードを守り切り最終ピリオドへ。

第 4 ピリオド

序盤、鹿体大は # 3 大串、# 3 4 城間、# 2 6 後藤の 3 連続シュートで一気に逆転すると、対する東海大は、# 1 0 井上がバスケットカウントを含む 5 連続得点を挙げる。鹿体大はオールコートでプレッシャーをかけ、追い上げにかかるも、東海大を捕まえることが出来ない。終了間際、点差を詰めた鹿体大は、ファウルゲームを仕掛けるも追いつくことが出来ずタイムアップ。東海大 # 1 0 井上 33 得点、鹿体大 # 3 大串 25 得点と終始インサイド陣が激しく得点を取り合った展開の試合は、73 - 64 で東海大が勝利した。